

平成28年度 シラバス

古武術

1. 努力目標

- (1) 沖縄伝統の空手道・古武道の基本技能及び形、組手を習得する。
- (2) 沖縄を発祥の地とした空手道の歴史に興味・関心を持ち、郷土文化の保存、継承、発展に寄与する生徒を育てる。
- (3) 「礼に始まり礼に終わる」空手道の礼節を学び、規律ある生活態度を育て、自ら学ぶ意欲を育てる。

2. 主な活動計画

- (1) 昇段（昇級）審査を定期的に行い、技能の向上を図る

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
古武術 I	4	1	全	必修	普通科 郷土文化コース

1. 概要及び目標

- ・沖縄を発祥の地とした空手道の歴史に興味・関心を持ち、郷土文化の継承、発展に寄与する生徒を育てる。
- ・空手道・古武道の基本技能及び形、組手、分解を習得する。
- ・「礼に始まり礼に終わる」空手道の礼節を学び、規律ある生活態度を育て、自ら学ぶ意欲を育てる。

2. 成績評価

- ・礼法（立礼・座礼）、立ち方、気合の出し方。
- ・基本技能（突き・蹴り・受け）、移動基本（順突き・逆突き・体の移動）及び形、組手、古武道（目線・気合・正確さ・パートナーとの呼吸・力強さ・スピード・武具の取り扱い等）を習得した時点での小テスト。
- ・授業の中で、学期ごとに実技テスト。（期末試験前後）
- ・授業態度
- ・勤怠状況、服装等

実技テスト	60%	小テスト	20%	授業態度等	20%
-------	-----	------	-----	-------	-----

3. 使用教科書等

- ・劉衛流空手形全集 監修 佐久本嗣男
- ・空手道形教範 指定形 財団法人全日本空手道連盟：編
- ・沖縄空手・古武道グラフ 沖縄県教育委員会

4. 学習方法

- ・年度の初めにコースの仕組みを説明し、自分の選択科目を決定する。（初めの時間で1クラスを3つのグループに分け、古武術・三線・琉球舞踊を体験する。）
- ・授業で学んだ形や形の分解、古武道等の発表会を行う。
- ・学期の最後に学んだこと、今後挑戦したい事等の感想を提出する。

5. その他（履修上の注意）

- ・成績評価は、実技テストを重視するが、授業態度の状況がひどい生徒については、厳重に対応する。必要に応じて、保護者に通知する。

平成27年度 シラバス

校長	教頭	教頭

古武術

教科担当 中根 建志

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
古武術Ⅱ	5	2	全	必修	普通科 郷土文化コース

1. 概要及び目標

- ・沖縄を発祥の地とした空手道の歴史に興味・関心を持ち、郷土文化の継承、発展に寄与する生徒を育てる
- ・空手道・古武道の基本技能及び形、組手、分解を習得する。
- ・「礼に始まり礼に終わる」空手道の礼法を学び、規律ある生活態度を育て、自ら学ぶ意欲を育てる。

2. 成績評価

- ・礼法（立礼・座礼）、立ち方、気合の出し方。
- ・基本技能（突き・蹴り・受け）、移動基本（順突き・逆突き・体の移動）及び形、組手、古武道（目線・気合・正確さ・パートナーとの呼吸・力強さ・スピード・武具の取り扱い等）を習得した時点での小テスト。
- ・授業の中で、学期ごとに実技テスト。（期末試験前後）
- ・授業態度
- ・勤怠状況、服装等

実技テスト	60%	小テスト	20%	授業態度等	20%
-------	-----	------	-----	-------	-----

3. 使用教科書等

- ・劉衛流空手形全集 監修 佐久本嗣男
- ・空手道形教範 指定形 財団法人全日本空手道連盟：編
- ・沖縄空手・古武道グラフ 沖縄県教育委員会

4. 学習方法

- ・2学年で学ぶ形や古武道の習得及び1学年で学んだ内容の復習。
- ・授業で学んだ形や古武道等の発表会を行う。
- ・学期の最後に学んだこと、今後挑戦したい事等の感想を提出する。

5. その他（履修上の注意）

- ・成績評価は、実技テストを重視するが、授業態度の状況がひどい生徒については、厳重に対応する。必要に応じて、保護者に通知する。

平成27年度 シラバス

校 長	教 頭	教 頭

古武術

教科担当 中根 建志

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
古武術Ⅲ	6	3	全	必修	普通科 郷土文化コース

1. 概要及び目標

- ・ 沖縄を発祥の地とした空手道の歴史に興味・関心を持ち、郷土文化の継承、発展に寄与する生徒を育てる。
- ・ 空手・古武道の基本技能及び形、組み手、分解を習得する。
- ・ 「礼に始まり礼に終わる」空手道の礼法を学び、規律ある生活態度を育て、自ら学ぶ意欲を育てる。

2. 成績評価

- ・ 礼法（立礼・座礼）、立ち方、気合いの出し方。
- ・ 基本技能（突き・蹴り・受け）、移動基本（順突き・逆突き・体の移動）及び形、組み手、古武道（目線・気合い・正確さ・パートナーとの呼吸・力強さ・スピード・武具の取り扱い等）を習得した時点での小テスト。
- ・ 授業の中で、学期ごとに実技テスト。（期末試験前後）
- ・ 授業態度
- ・ 勤怠状況、服装等

実技テスト	60%	小テスト	20%	授業態度等	20%
-------	-----	------	-----	-------	-----

3. 使用教科書等

- ・ 劉衛流空手形全集 監修 佐久本嗣男
- ・ 空手道形教範 指定形 財団法人全日本空手道連盟：編
- ・ 沖縄空手・古武道グラフ 沖縄県教育委員会

4. 学習方法

- ・ 3学年で学ぶ形や古武道の習得及びこれまでの2年間で学んだ内容の復習。
- ・ グループでこれまでに習得してきた技を用いて形(空手、古武術)の分解を創作する。
- ・ 授業で学んだ形や古武道等の発表会を行う。

5. その他（履修上の注意）

- ・ 成績評価は、実技テストを重視するが、授業態度の状況がひどい生徒については、厳重に対応する。必要に応じて、保護者に通知する。